

農業後継者育成基金事業

平成25年度農業青年グループ等育成事業（地域青年農業者等グループ助成）

事業主体名 薩摩さみどり会（さつま町）

1 目的

近年茶業を取り巻く環境は厳しく、荒茶単価は下降傾向にある。また、鹿児島県産茶は荒茶で70%が県外に出荷され、仕上げ茶比率は30%と低い状況が続いている。茶生産者の所得を上げるためには、生産者自身が仕上げ茶技術を習得し、販売する工夫や、消費者の興味を引くパッケージやデザイン技術の習得も重要となってきた。更に、近年はインターネットの普及により遠隔地との直接取引を行う事例もみられる。

薩摩さみどり会では鹿児島茶の銘柄確立と個別の仕上げ茶技術の向上を図るために、顧客を引きつける各自のパッケージ作成、大消費地である東京での新規開拓をめざした販売会を実施した。

2 実施状況（主要なものを選定して記載してください）

（1）茶商との荒茶評価会の実施（H26年2月6日）

- ・実施場所 鹿児島県茶市場
- ・消費者と実際接する茶商の方々と意見交換することで消費者に好まれる、売れる茶づくりについて技術と情報を得ることができた。



（2）東京での仕上げ茶販売（H25年11月8～9日）

- ・実施場所 東京明治公園
- ・自分達で作成した一煎茶パックを東京で販売し新たな顧客を開拓できた。
- ・東京の消費者と直に話し、都会の消費動向について会員が肌で感じ、今後の茶づくりに役立てることができた。



3 今後の課題、取り組み

- ・継続した東京での販売会の実施
- ・消費者を引きつけるパッケージの作成